News Release

2016 年 9 月 7 日

リアルテックファンド、次世代蓄電デバイスと高精度測位システムを開発する「スペースリンク株式会社」に出資を実施

株式会社ユーグレナインベストメント

株式会社ユーグレナインベストメント（本社：東京都港区、代表：永田暁彦）は、ベンチャーキャピタルファンド「リアルテックファンド」の新たな投資先として、スペースリンク株式会社（以下、スペースリンク社）への出資を実施したことをお知らせします。

スペースリンク社は、宇宙向け技術開発で培った先端技術をベースに、次世代蓄電デバイスで「カーボンナノチューブキャパシタ」の開発および、高精度な測位を安定的に効率よく行うことが可能な「マルチ GNSS（Global Navigation Satellite System）受信機」の開発という 2 つの異なる技術開発を行っている企業です。キャパシタは、瞬間的に大電流を放電・回収することを得意とし、自然エネルギー分野や、自動車、鉄道、建設機械などの分野で活用が進められる蓄電デバイスです。スペースリンク社は、独自のナノカーボン制御技術により、このキャパシタにカーボンナノチューブを使用した「カーボンナノチューブキャパシタ」を開発し、蓄電容量、瞬間的に放電・回収できる電力量、充放電における性能劣化の抑制などその性能を飛躍的に向上させると共に、低コスト化を実現させ、各分野におけるエネルギー利用に革新をもたらすことが期待されています。また、高精度測位システムである「マルチ GNSS 受信機」は、これまで同社が宇宙向け技術開発の分野で蓄積してきた独自技術を活用し、既存の測位受信機に比べ、障害物の多い環境下や急加速時でも、より高精度な測位を安定的に効率よく行うことが可能な受信機で、産業用ドローンや自動運転などの様々な分野への応用が期待されています。

今回リアルテックファンドは、「カーボンナノチューブキャパシタ」や「マルチ GNSS 受信機」を開発するスペースリンク社の高い技術力に注目し、第三者割当増資により発行する株式を引き受けることで資金提供を行うとともに、次世代蓄電デバイス及び高精度測位システムの研究開発や販売・マーケティング活動等を支援して参ります。

詳細は以下のとおりです。

スペースリンク株式会社への出資について

■ スペースリンク株式会社と支援内容について

設立年月：2004 年 5 月 18 日
所 在 地：神奈川県藤沢市遠藤 4489-105 慶應藤沢イノベーションビレッジ
代 表 者：代表取締役　阿部 俊雄
資 本 金：5,708 万円（資本準備金含まず）
事業内容：宇宙向け技術開発で培った先端技術をベースに、次世代蓄電デバイスと
　　高精度測位システムを開発
H　　P：http://www.spacelink.biz

支援内容：ファンド出資企業との連携推進、研究開発や販売・マーケティング活動の支援
出資時期：2016 年 6 月

■ リアルテックファンドについて（HP：http://www.realtech.fund）

ユーグレナ社の 100%子会社であるユーグレナインベストメント、ＳＭＢＣ日興証券、リバネスが 3 社 で設立した「合同会社ユーグレナＳＭＢＣ日興リバネスキャピタル」が管理運営するベンチャーキャピタルファンドで、リアルテックベンチャーの投資育成を主目的としています。参加企業は合計 23 社、ファンド規模は 75 億円（2016 年 8 月末日現在）で、日本最大のリアルテック特化型ファンドです。出資者である以下事業会社とともに、リアルテックベンチャーへの投資・育成を行っています。

出資企業：株式会社ユーグレナインベストメント、SMBC 日興証券株式会社、株式会社リバネス、日本たばこ産業株式会社、三井不動産株式会社、株式会社吉野家ホールディングス、ロート製薬株式会社、鐘通株式会社、株式会社電通、東京センチュリーリース株式会社、協和発酵キリン株式会社、藍澤証券株式会社、清水建設株式会社、株式会社三井住友銀行、ANA ホールディングス株式会社、THK 株式会社、東洋アルミニウム株式会社、第一生命保険株式会社、CQ ベンチャー株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、日本ユニシス株式会社、株式会社 JCU、東洋紡株式会社（計 23 社、2016 年 8 月末日現在）

以上